

動物実験に関する検証結果報告書

岐阜医療科学大学

令和 2 年 4 月

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 機関内規程「岐阜医療科学大学動物実験規程」が適正に定められている。 これをもって妥当と判断できる。
3) 外部検証結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見 特になし

2. 動物実験委員会

1) 自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 岐阜医療科学大学実験動物委員会が適正に運営されている。 機関内規程「岐阜医療科学大学動物実験規程」「岐阜医療科学大学動物実験委員会規程」により審査、審議、各種調査を行っており、これをもって妥当と判断できる。

3) 外部検証結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見
特になし

3. 動物実験の実施体制

1) 自己点検・評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
岐阜医療科学大学大学動物実験規定が適正に定められている。 「動物実験終了報告書」以外に得られた結果を示す「動物実験結果報告書」を定めている。
3) 外部検証結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 自己点検・評価結果
☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善

すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「安全管理規定」遺伝子組換え生物等の実験実施規定」「薬品安全管理・廃棄物処理委員会規程」「薬品安全管理・廃棄物処理要領」が定められている。 これをもって妥当と判断できる。
3) 外部検証結果 ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は行われていない。
4) 改善に向けた意見 特になし

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 自己点検・評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管は行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 緊急対応マニュアルの災害時対応はより詳細であり、火災、地震以外のその他の災害にも対応できる。これをもって妥当と判断できる。
3) 外部検証結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。

☐ 飼養保管は行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

1) 自己点検・評価結果

実験動物慰霊碑前で年一回慰霊祭を行っており、関係者は全員参加している。
動物倫理の専門家が動物実験委員会委員とし、審査している。動物倫理・福祉面で
十分な配慮がされている。

2) 外部検証結果

慰霊碑は実地確認し、学内慰霊祭は写真確認を行った。
施設規模を考えると、動物倫理の専門家を置いていることは評価できる。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価結果

「岐阜医療科学大学動物実験規定」に基づき、適正な活動を実施している。
これをもって妥当と判断できる。

3) 外部検証結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし

2. 動物実験の実施状況

1) 自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

「岐阜医療科学大学動物実験規定」に基づき、適正に実施されており、また、全てが自己点検票により点検されている。
よってこれをもって妥当と判断できる。

3) 外部検証結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 自己点検・評価結果

- ☐ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☒ 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理を要する動物実験は行われていない。

3) 外部検証結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見
特になし

4. 動物実験の飼養保管状況

1) 自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☐ 動物実験の飼養保管を行っていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「岐阜医療科学大学 SPF 飼育室及び実験室マニュアル」により適正運営されている
自己点検票の全員提出を認める。微生物モニタリングは適切に行われている
よってこれをもって妥当と判断できる。

3) 外部検証結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に機能している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☐ 動物実験の飼養保管を行っていない。

4) 改善に向けた意見
特になし

5. 施設等の維持管理の状況

1) 自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

☐ 飼養保管施設を有していない。
2) 自己点検・評価の妥当性 AAALAC 評価基準をも満たす設計で設立され、小規模ながらセキュリティ対策も含め適切である。 よってこれをもって妥当と判断できる。
3) 外部検証結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に機能している。 ■ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を有していない。
4) 改善に向けた意見 空調機器や弱酸性水生成装置の故障に見られるように、設置からの経年劣化が認められる。また洗浄の必要な箇所も散見される。清浄を保つことは実験動物飼養保管の基礎である。専任技術員が置かれていない現状を持ってしても更なる改善を求める。通常業者洗浄の時期であると思われる。

6. 教育訓練の実施状況

1) 自己点検・評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験実施者に対する教育訓練が適正に実施されている。各種指針や規定に合致している。実験動物管理者、動物実験委員会委員は関連省庁や日本動物実験学会等の主催する講習会を受講しており、よってこれをもって妥当と判断できる。
3) 外部検証結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4)改善の方針、達成予定時期
該当せず

7. 自己点検・評価、情報公開

1)自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2)自己点検・評価の妥当性

情報公開を適正に実施している。上記資料希望者には郵送も可としている。

3)外部検証結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4)改善の方針、達成予定時期

最新指針による国立大学法人動物実験施設協議会及び公私立大学実験動物施設協議会の「動物実験に関する外部検証」を実施されており、ホームページ公開されている。詳細(実験件数、使用匹数等)は図書館での公開されている。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

1)自己点検・評価結果

・岐阜医療科学大学における動物実験委員会委員の構成

令和 元年度:教授 6 名、准教授 2 名、講師 1 名、助教1名、事務職員 2 名である。

2)外部検証結果

平成 28 年度から飼養保管施設を有することとなった将来の更なる施設基準改正をも見込んだ最新の SPF 施設であり、公私立大学実験動物施設協議会の施設評価も受

けている。本年度同総会ならびに「実験動物管理者の教育訓練」（福岡同時開催）に1名参加させている。また各委員も十分な知識見識がある。更に近年問題となっている動物倫理に対し、専門の倫理学者を加えており、また委員会全体としても十分な人員といえる。